

担当教員 齋藤 晃				
開始時期 後期	開講期間 半期	科目番号 20DRSc02	授業形態 演習	単位 2
キーワード 文化接触、植民地主義		対象学年 1, 2 学年	聴講・参加資格 専攻	
科目名称：日本語 アメリカ文化研究特論				
科目名称：英語 Proseminar (American Studies)				
科目の概要：日本語 南アメリカのエスノヒストリー				
科目の概要：英語 Ethnohistory of South America				
<p>科目の目的：</p> <p>南アメリカの先住民は、16世紀初めのヨーロッパ人との接触以後、社会と文化の両面で大きな変化を強いられた。社会的にはヨーロッパ様式の町を基盤として政治組織の再編成が進み、文化的にはキリスト教への改宗が促された。その結果、北から南、高地から低地にかけて著しい多様性を示していた先住民の社会と文化は、植民地時代を通じて次第に画一化していった。また、それと並行して、ヨーロッパ伝来の制度や慣行を取り込みながら、新たな社会と文化の創造が試みられた。本科目の目的は、こうした変化の軌跡を地域的な多様性を考慮しながら跡づけることである。</p>				
<p>学習成果・習得する技能や知識：</p> <p>ヨーロッパ人との接触以前の南アメリカの先住民の社会と文化がどのようなものであり、それらが接触以後どのように変化したかをおおまかに理解し、説明できるようになる。</p>				
<p>成績評価方法・基準：</p> <p>授業への出席率（40%）、議論への参加度（30%）、口頭発表（30%）により評価する。</p>				
<p>授業内容：</p> <p>授業では毎回、指定された文献を受講者全員が事前に読了し、ひとりがその内容について報告する。その後、担当教員が解説し、全員で議論する。</p>				
<p>日程：</p> <p>毎週1回。曜日と時間については、受講者と相談して決定する。</p>				
<p>実施場所：</p> <p>担当教員の研究室</p>				
<p>使用言語：</p> <p>日本語</p>				

<p>その他使用言語：日本語 スペイン語</p>
<p>準備学習： 指定された文献を事前に読んでおくこと。</p>
<p>関連科目・履修条件： スペイン語の読解能力が必要である。</p>
<p>教科書・必読書： 受講者と相談して決定する。</p>
<p>参考書・その他の教材： ジョン・H・エリオット『旧世界と新世界 1492-1650』岩波書店、1975 染田秀藤編『ラテンアメリカ史－植民地時代の実像』世界思想社、1989 網野徹哉『インカとスペイン帝国の交錯』（興亡の世界史 12）講談社、2008 岡田裕成・齋藤晃『南米キリスト教美術とコロニアリズム』名古屋大学出版会、2007</p>
<p>備考： 地域文化学・比較文化学の2専攻の学生のみ申請可</p>